

議員の質問時間を60分に戻すことを求める要望書

2020年11月20日

柏市議会議長 助川忠弘様

日本共産党柏市議会議員団

新型コロナウイルスの新規感染者数は全国各地で過去最多を更新しています。柏市においても深刻さは増しており、感染拡大を防止し、市民の命と健康、暮らしと営業を守るうえで、国と地方自治体の責任はいよいよ重くなっています。

議会も同様に、それぞれの立場から市民の声をすくい上げ、行政に届け、施策に生かしていくことがますます重要になっています。

柏の議会は、議員の質問時間を6月議会は20分に、9月議会は30分に狭めました。「感染拡大防止」を理由にしていますが、コロナ禍のもとだからこそ、十分な時間を確保して議論し、チェック機能を果たして市民の負託に応える必要があるのではないのでしょうか。

県内の主要市、近隣市をみても、通常の運営に戻っている議会が多くなっています。中核市59市の中で質問時間を短縮した市は、わかっている範囲で柏市を含め10市のみと聞いています。柏市議会においても、議員の質問時間を元の60分に戻し、十分な感染防止対策をとりつつ、市民の様々な要望、意見を集約し、市に届け、市の施策に反映させるという議員の役割を果たせるよう、議長としてのリーダーシップの発揮を強く要望します。